

県のモニタリング検査実績

- 毎週150検体程度（海産魚）
- これまでに約6万検体（R1.6）を検査
- 215種類の海産魚介類を検査（R1.6）

毎週の検査結果を県ホームページに全て掲載するとともに、新聞等マスコミへも情報提供

福島県水産課

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36035e/suisanka-monita-top.html>



県の魚介類検査の流れ



検体採集

県の調査船や漁船にて
検体を採集します。



魚体の測定・前処理等

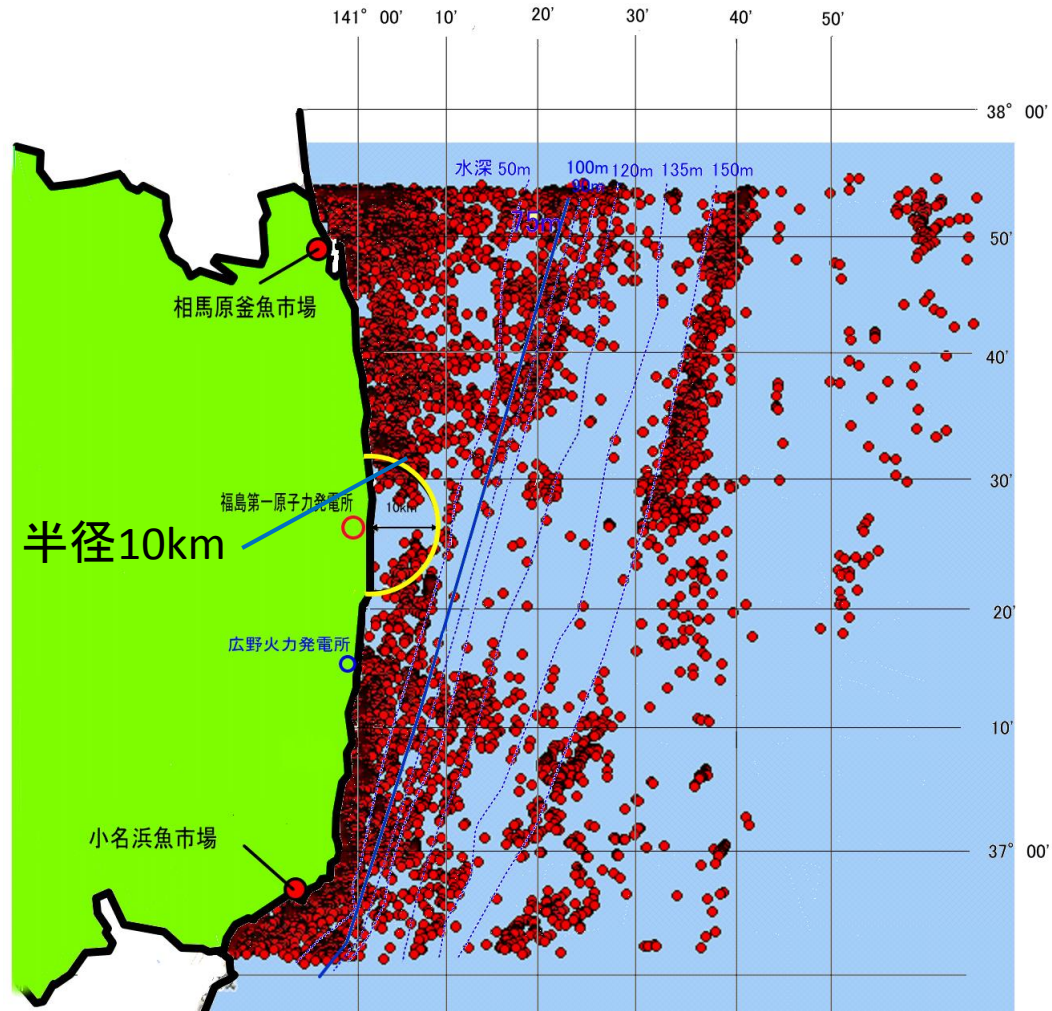
県水産試験場で魚体等
の測定を行った後に測定
できるようミンチ状にし
ます。



放射能検査

検体を県農業総合セン
ターに搬入し、放射能の
検査を行います。

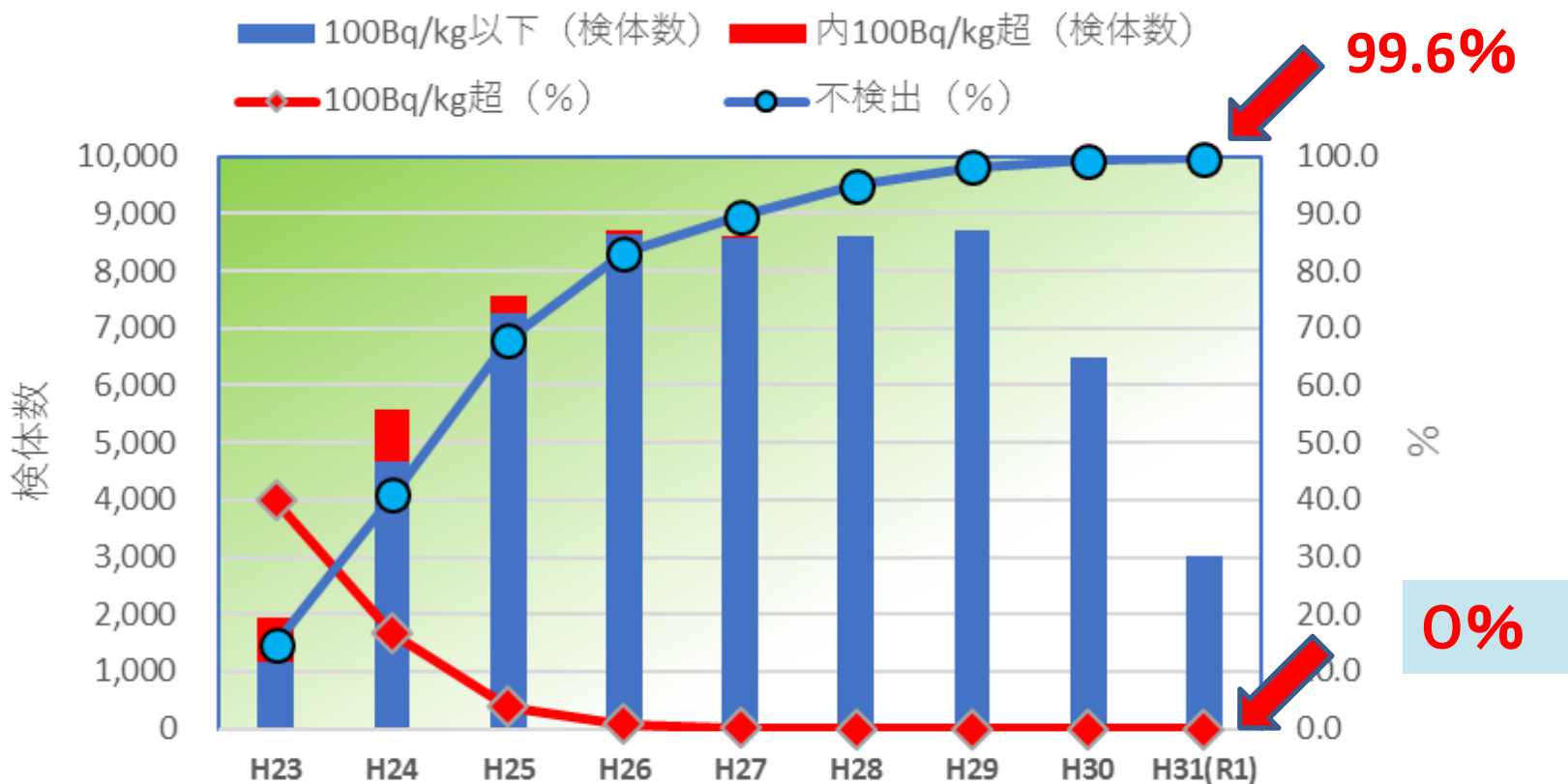
福島県沖全域で検体を採取し、検査を行っています。



モニタリング検査検体採取位置 (H23.4～H29.7)

放射能の影響はほぼなくなりました。

- 海産魚介類の放射性セシウム濃度は明確に低下
- 平成27年4月以降4年間、国の基準値(100Bq/kg)超えはゼロ
- 令和元年(6月まで)の合計で99.6%が不検出



福島県沖の魚介類の出荷制限等指示の状況

最多44魚種について出荷制限等指示 → 2魚種まで減少
(2019.9現在)



コモンカスベ



ビノスガイ